

お城公園こども遊び場づくり事業 第5回事業推進会議を開催しました！

令和7年9月15日(月曜日)の午前に、お城公園こども遊び場づくり事業 第5回事業推進会議を、津リージョンプラザ1階中央保健センター待合ホールにて開催しました。

第5回の会議にはこども8人を含む、31人にご参加いただきました。



最初に津市のホームページで実施したイメージ案への意見募集の結果を報告した後、進行役である「特定非営利活動法人世界 SHIEN こども学校のびすく」の松井さんから最終イメージ案について説明していただきました。

また、意見募集の際に説明が不足していた「犬走り」について、安濃津ガイド会の深見さんから解説をしていただきました。

その後は、前半は活用方法、後半は維持管理などについて、グループで対話を行いました。

<グループワークの様子(前半)>





グループワークの後、いいと思った意見にシールで投票を行いました。

<投票の様子(前半)>



前半の投票の結果

(1)歴史・学習エリアと藤棚の掲示物と展示活用方法は

【うみグループ】

- 津城の歴史、高虎さんの一生がわかる年表(QRコード、関係のポスターを貼る、掲示板)
- 顔はめパネルを置く
- 藤棚:夜はライトアップ、季節により風鈴やちようちんをかざる

【かわグループ】

- QRコード+YouTube動画の説明コラボ

(2)今後のこと遊び場の活用方法は

【やまグループ】

- 解体中もSNS発信、養正小からも見学
- 完成時はNHK朝ラジオ体操に生放送
- 養正小でPRポスターを描く

【かぜグループ】

- 工事中の囲い板に落書き ⇒オープニングイベントで披露

(3)市民ができることは

【かぜグループ】

- 草抜き大会(景品付き)

【やまグループ】

- 市民講座と市民清掃(定期的)
- こども主催のイベント開催(草抜き大会・謎解きスタンプラリーなど)

(4)進化する遊び場にするには

【かぜグループ】

- コスプレ大会や運動会などのイベント
- 花壇に花を植える

【やまグループ】

- こどもたちが育てた花コーナーをつくりイベントを盛り上げる

が多くの票を集めていました。

<グループワーク(後半)>



<投票(後半)>



後半の投票の結果

(1)市民主体で行政と協働の維持管理方法は

【うみグループ】

- 掲示物、トイレ、ベンチは清掃の日にする
- 藤棚、花壇など植樹スペースを里親制度(個人や団体)にして、育ててもらう
- ボランティアをつくる

【やまグループ】

- 「〇〇公園」実行委員会の設置

(2)維持管理時のルールは

【かわグループ】

- おこまり BOX を作って意見を投票する。選ばれたものについては1か月に1回実行する。
- お困り意見アプリの QR コード
- こども委員会と一緒に考える

【うみグループ】

- 申請や意見を送れる QR コード(グーグルフォーム)を表示できる看板を立てる

(3)保守に必要な事と方法は

【かぜグループ】

- 市民で草取り、落ち葉ひろい
- こどもを入れた専門会議検討会

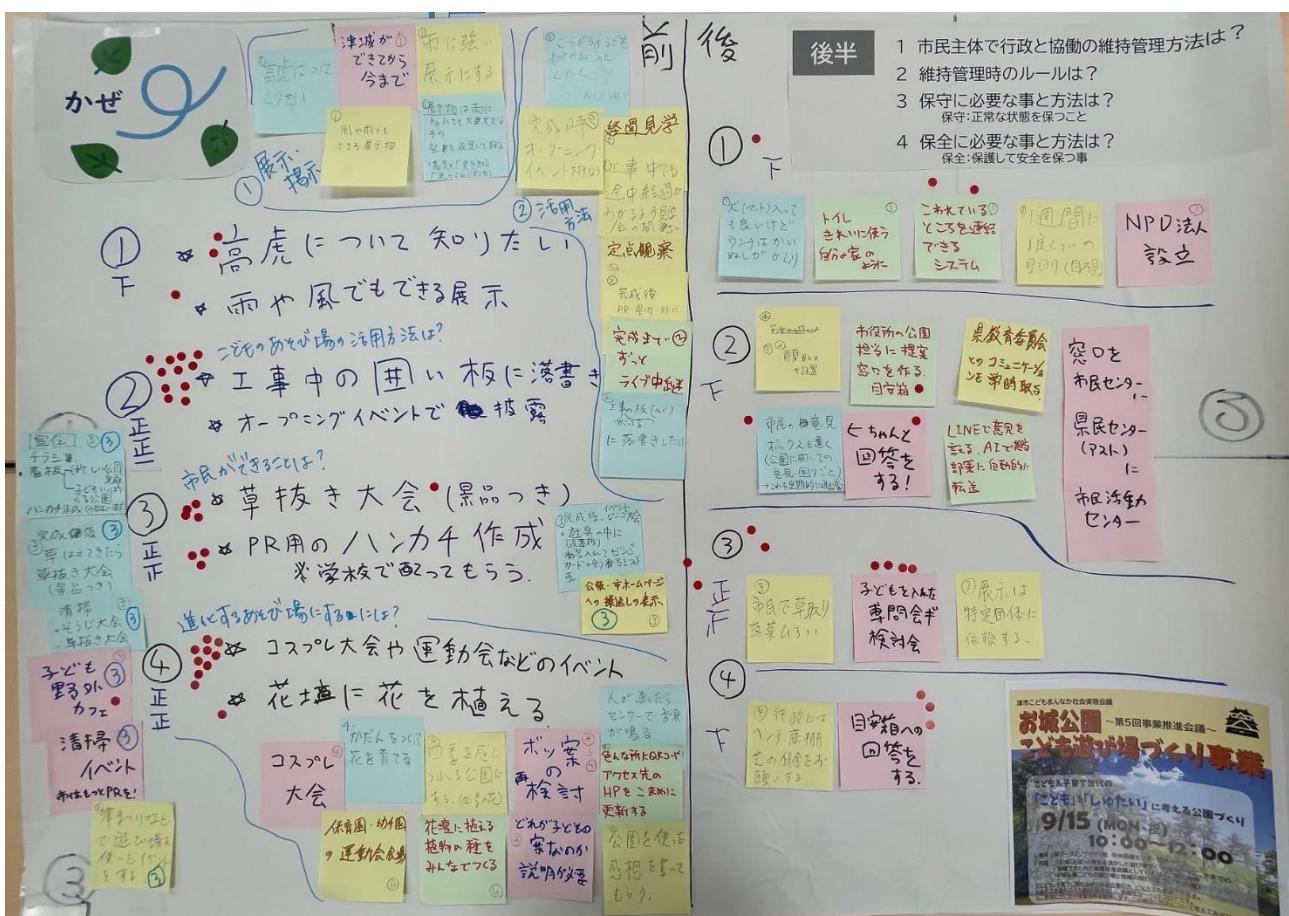
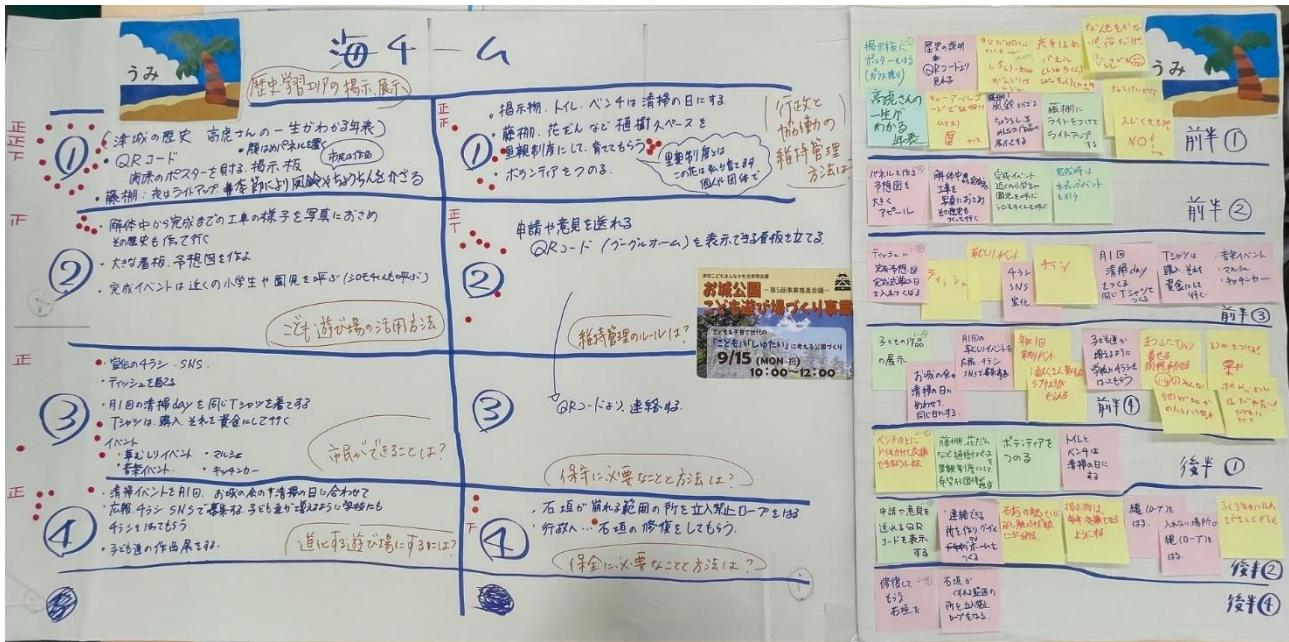
(4)保全に必要な事と方法は

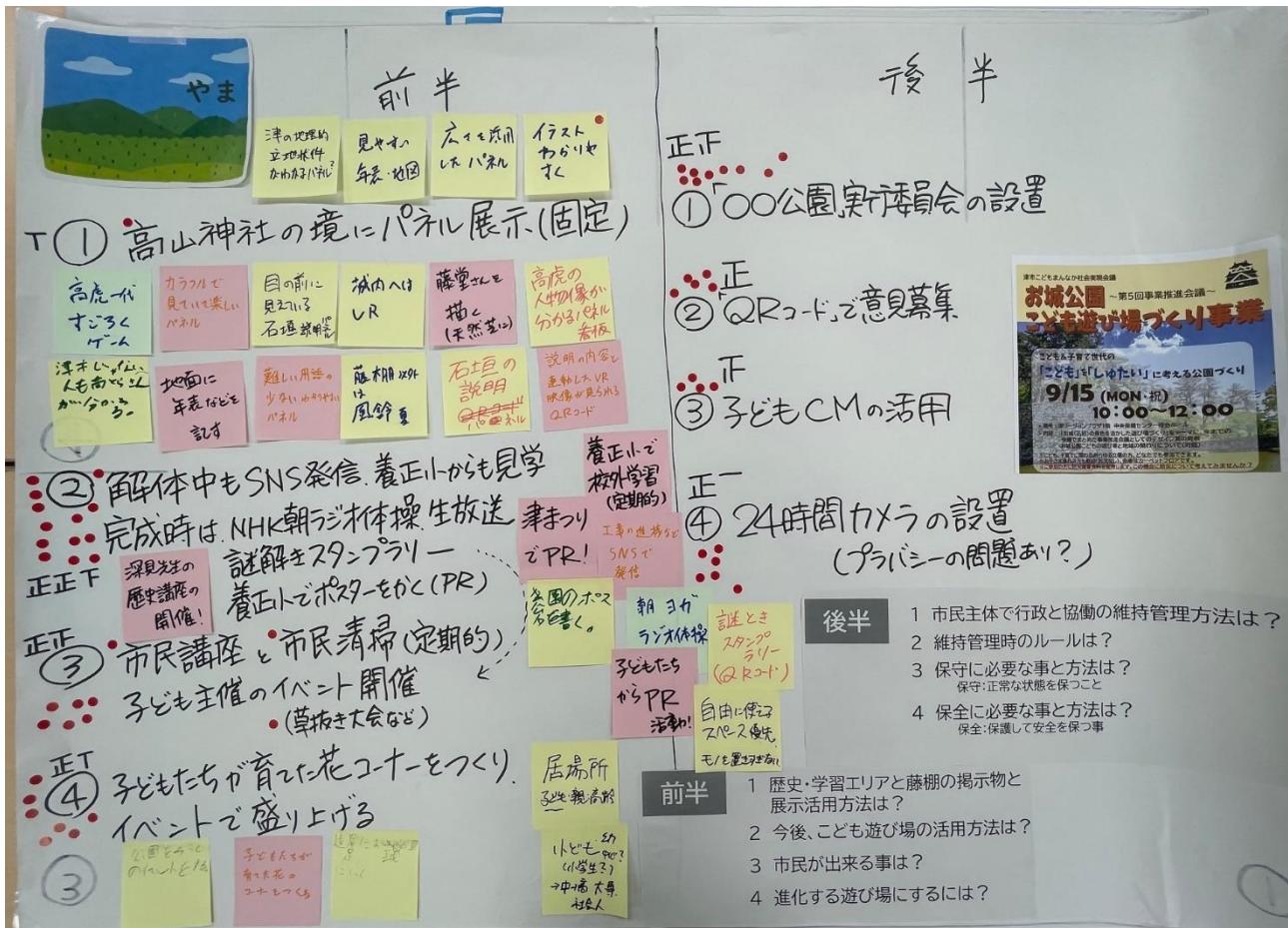
【やまグループ】

24時間カメラの設置(プライバシーの問題あり?)

といった意見が多くの票を集めていました。

全ての意見は以下





前半と後半それぞれで得票数が多かった意見を中心にグループごとに全体に向けて発表をしました。



会議の最後には事業推進会議で取りまとめた最終イメージ案を津市へ引き渡しました。



松井さんは「みなさんのデザインが実現できるように、頑張っていただけると思います。」と話し、会議の参加者に向けて「これでみなさんの手が離れたわけではありません。みなさんのアイデア・意見をもらいながらこれからも対話の場を続けていきたいと思いますが、まだまだ対話をやっていきたいと思う方は手を挙げてください。」と呼びかけると、参加者のほとんどが挙手してくださいました。

思いを受け取った建設整備課の職員からは、「いただいた案を受け、今後は樹木医による桜の診断や現地の測量、基本設計を進めていきます。その中で、変更を伴う場合や協議が必要になってくることがあると思うので、またその時にはご協力いただきたい。」と話がありました。

今回の会議について、アンケートで満足度を尋ねたところ多くの方に満足・やや満足とご回答いただきました。

その理由について

- 楽しかった(小学生)
- 小学生の子たちのユニークな意見が出て楽しかった。(高校生)
- 現実的に運営について考えることができたから。(18歳～29歳)
- 前回より子どもの参加が多い(30代・40代)
- 子どもたちがいつも楽しみに参加しています。子ども第一に考えてくれているのが嬉しいです。(50代・60代)

などの意見をいただきました。